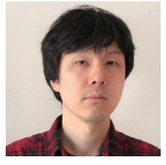
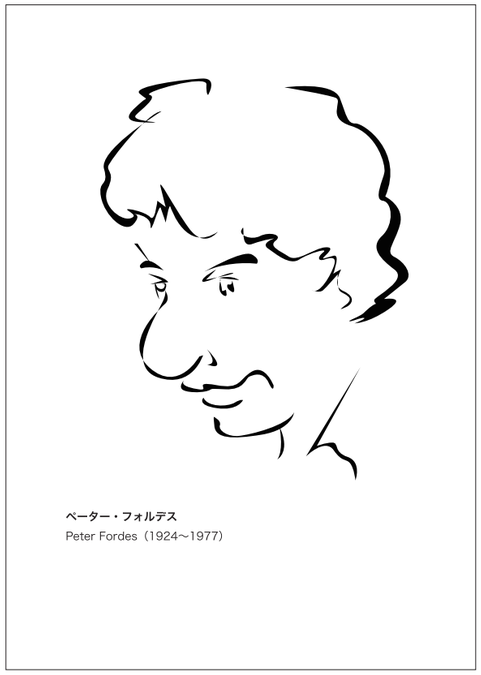
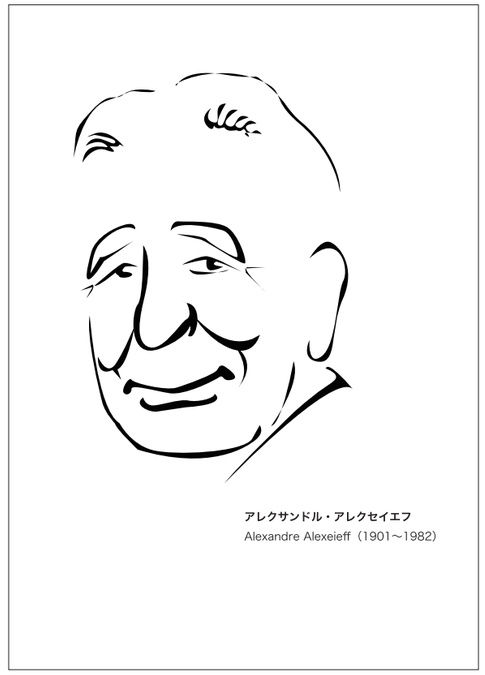
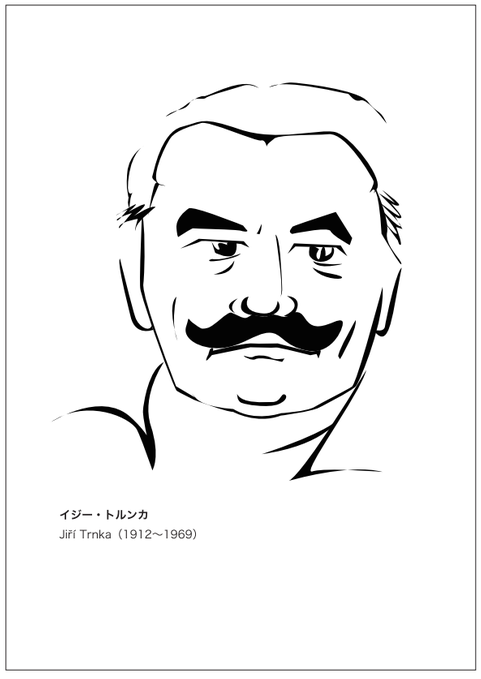
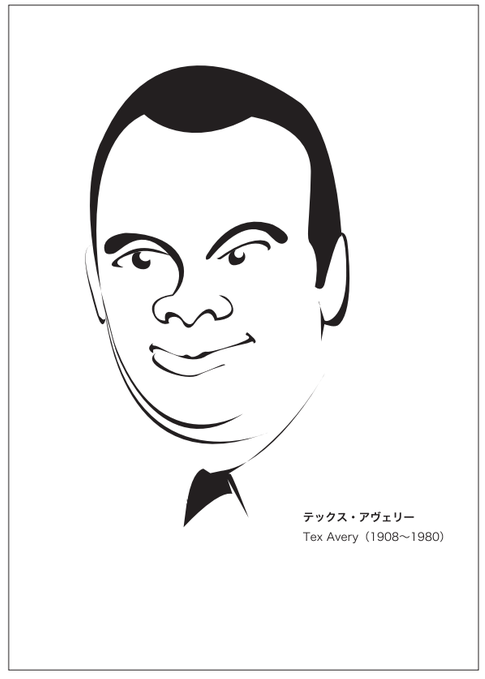
# 「アニメーション作家を知る」

アニメーション学科 権藤俊司 Shunji Gondo　アニメーション学科 細川 晋 Shin Hosokawa

アニメーションの歴史を語る上で忘れてはならない先人たちが数多にいる。その中から選んだ人物をイラストレーションとともに紹介する。斬新な作品、新たな技術を残した人々はそれがいつの時代の誰であっても素晴らしい。よってどこの国の作家や監督であろうと関係はない。しかし今回取り上げた人物が海外作家である事には理由がある。

厚木キャンパスのアニメーション学科専用教室は、アニメーション作家の個人名を冠した別称で親しまれている。この別称は本学アニメーション学科が 2003 年 4 月にスタートした際に学科内の協議で決定されたものである。
作家名を付すにあたって、選定の基本方針は「商業・非商業を問わず、アニメーションの各分野を代表するパイオニアであること」「教室の用途と作家には、可能な範囲で関連性を持たせること」であった。なお、実際の選定作業にあたったのは学科開設前の検討チーム（開設後は専任教員）のメンバーであった木船・加藤・陶山・権藤の 4 名である。

権藤俊司・東京大学文学部卒業後、海外アニメーションを中心とした研究活動を行う。
主な著作に『ユーロ・アニメーション』（フィルムアート社、共編）、『世界と日本のアニメーションベスト 150』（ふゅーじょんぷろだくと、監修）、『イタリアアニメーションの世界』（プチグラパブリッシング、項目執筆）等がある。



細川 晋・多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業、同大学院修了。以後、個人作品を制作する一方、フリーランスで主に立体アニメーションを使用したテレビ番組や CM、映画などに携わる。